

## 11 表計算の練習8

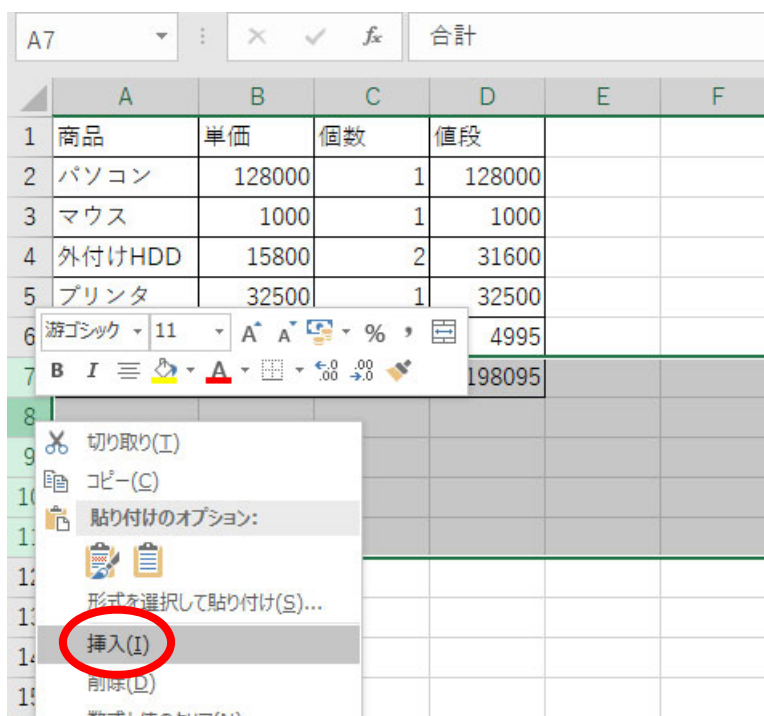
Excel ではデータを扱う上で、便利な機能があります。まず、フィルターを試してみましよう。練習1で使用したワークシートを活用します。excel-sample1 を開きます。なお、以下のスクリーンショットは、Excel 2016 の内容であることを補足しておきます。

	A	B	C	D	E	F
1	商品	単価	個数	値段		
2	パソコン	128000	1	128000		
3	マウス	1000	1	1000		
4	外付けHDD	15800	2	31600		
5	プリンタ	32500	1	32500		
6	USBメモリ	999	5	4995		
7	合計	-	-	198095		
8						
9						
10						

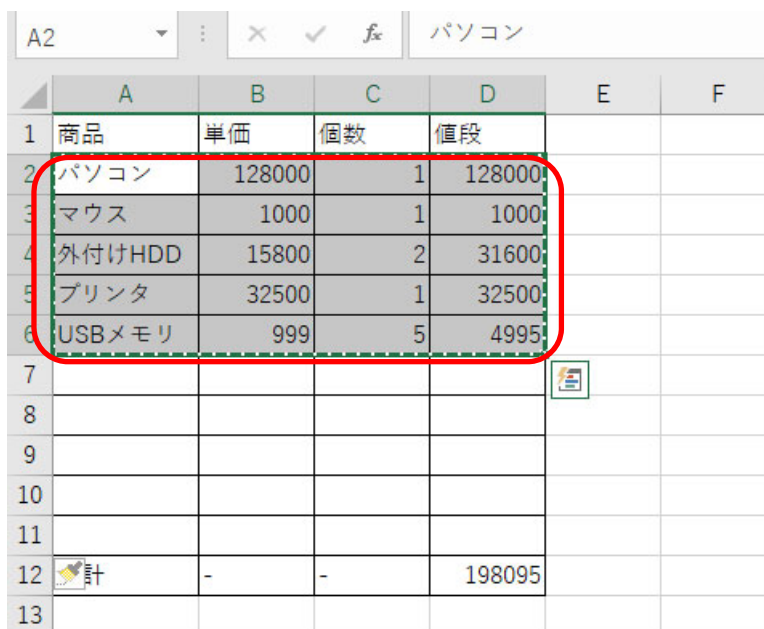
開いたら、ドキュメントフォルダに「excel-sample8」の名前で保存しましょう。フィルターの機能を試すために、データを追加してみましょう。5行を挿入するために7から11行目を選択します。

	A	B	C	D	E	F
1	商品	単価	個数	値段		
2	パソコン	128000	1	128000		
3	マウス	1000	1	1000		
4	外付けHDD	15800	2	31600		
5	プリンタ	32500	1	32500		
6	USBメモリ	999	5	4995		
7	合計	-	-	198095		
8						
9						
10						
11						
12						

選択した行番号の部分をクリックし、「挿入」をクリックします。



5行挿入されました。A2 から D6 をコピーします。



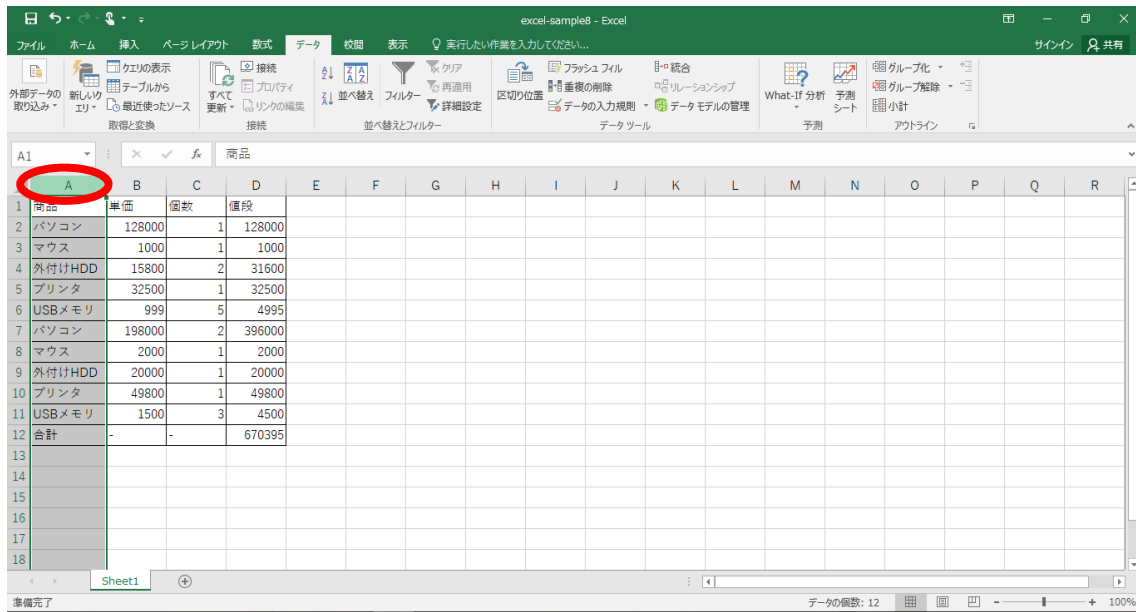
A7 に貼り付けます。

	A	B	C	D	E	F
1	商品	単価	個数	値段		
2	パソコン	128000	1	128000		
3	マウス	1000	1	1000		
4	外付けHDD	15800	2	31600		
5	プリンタ	32500	1	32500		
6	USBメモリ	999	5	4995		
7	パソコン	128000	1	128000		
8	マウス	1000	1	1000		
9	外付けHDD	15800	2	31600		
10	プリンタ	32500	1	32500		
11	USBメモリ	999	5	4995		
12	合計	-	-	198095		
13						

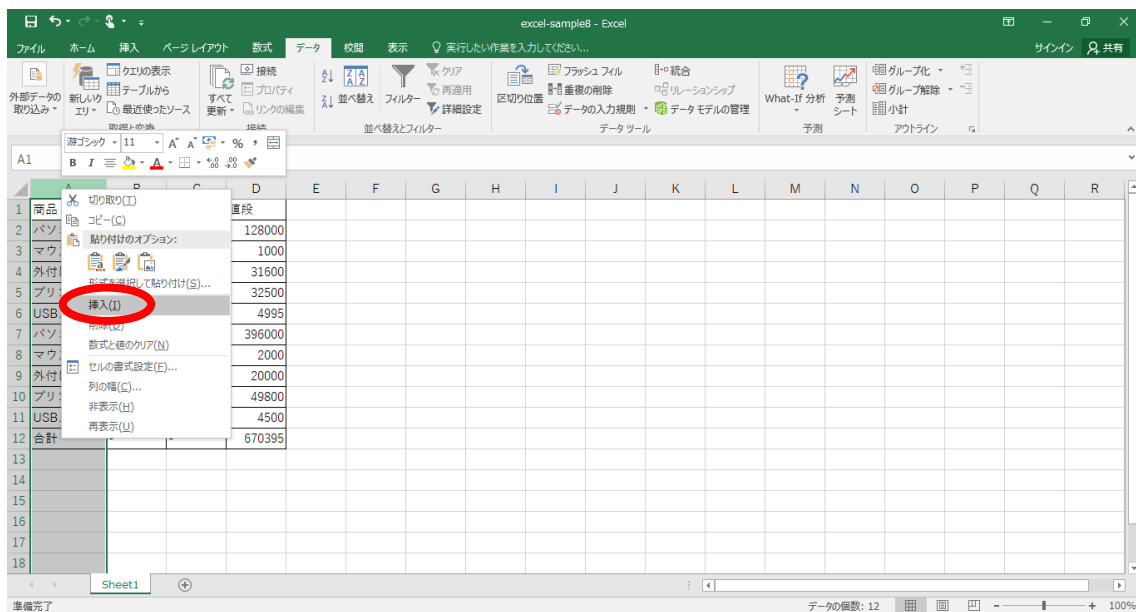
B7 から C11 のセルの内容を、以下の例のように書き換えます。D12 のセルの内容を「=SUM(D2:D11)」に修正します。

	A	B	C	D	E	F
1	商品	単価	個数	値段		
2	パソコン	128000	1	128000		
3	マウス	1000	1	1000		
4	外付けHDD	15800	2	31600		
5	プリンタ	32500	1	32500		
6	USBメモリ	999	5	4995		
7	パソコン	198000	2	396000		
8	マウス	2000	1	2000		
9	外付けHDD	20000	1	20000		
10	プリンタ	49800	1	49800		
11	USBメモリ	1500	3	4500		
12	合計	-	-	=SUM(D2:D11)		
13						

元のデータの順番を保存しておくために、列を追加します。ここでは、A列をクリックします。



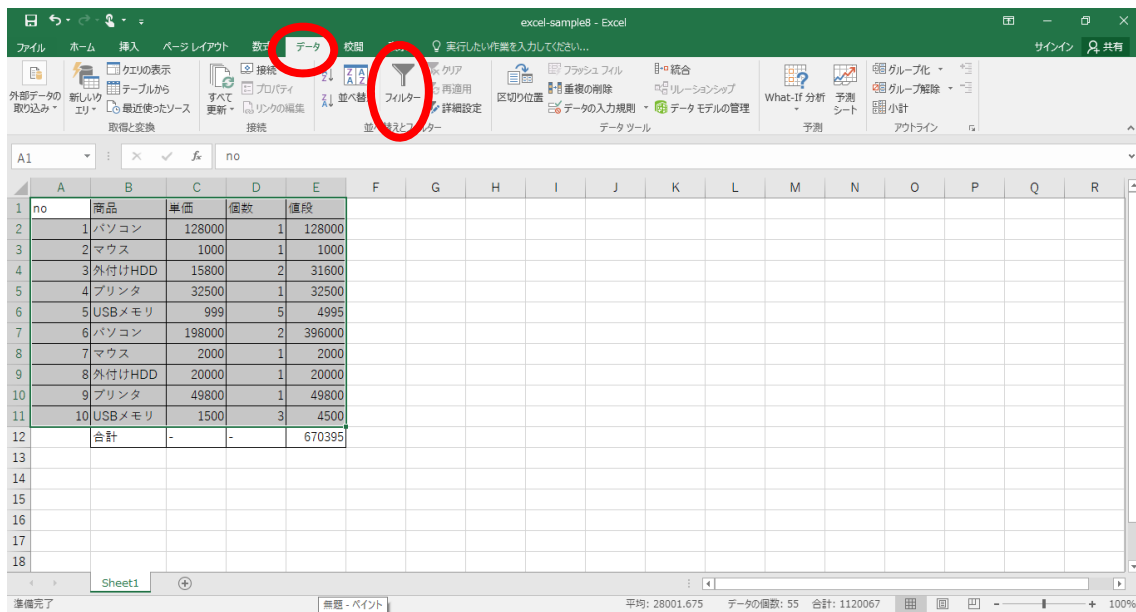
A列を右クリックし「挿入」をクリックします。



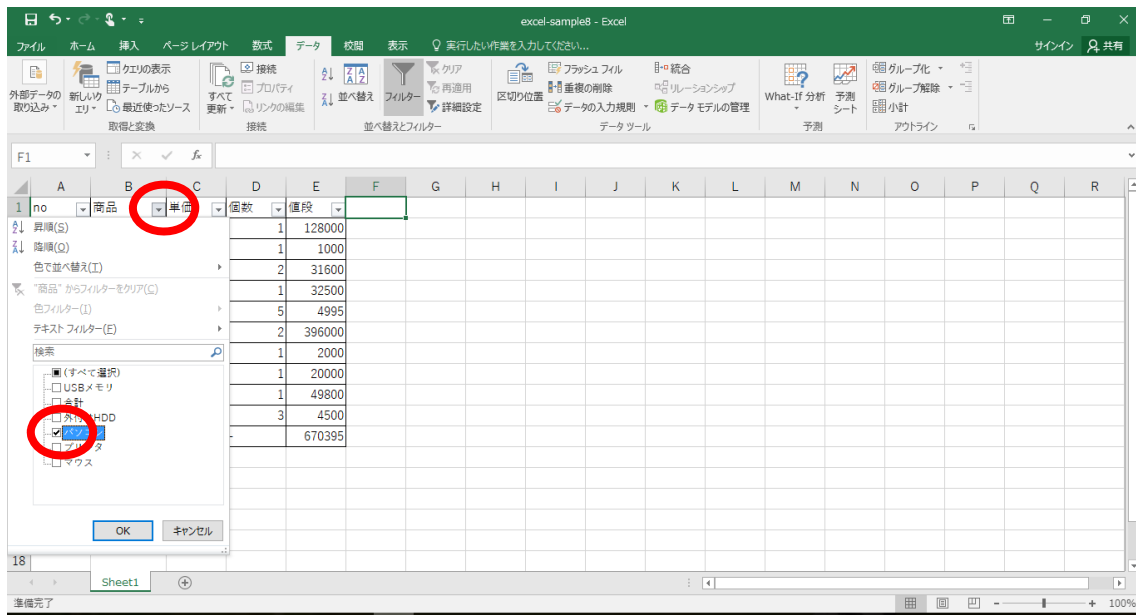
A 列に元の順番が分かるように番号を付けておきましょう。フィルターや並べ替えを行うと、データの位置が変わります。元の位置が分かるようにしておくことは大切です。

	A	B	C	D	E	F
1	no	商品	単価	個数	値段	
2	1	パソコン	128000	1	128000	
3	2	マウス	1000	1	1000	
4	3	外付けHDD	15800	2	31600	
5	4	プリンタ	32500	1	32500	
6	5	USBメモリ	999	5	4995	
7	6	パソコン	198000	2	396000	
8	7	マウス	2000	1	2000	
9	8	外付けHDD	20000	1	20000	
10	9	プリンタ	49800	1	49800	
11	10	USBメモリ	1500	3	4500	
12		合計	-	-	670395	
13						

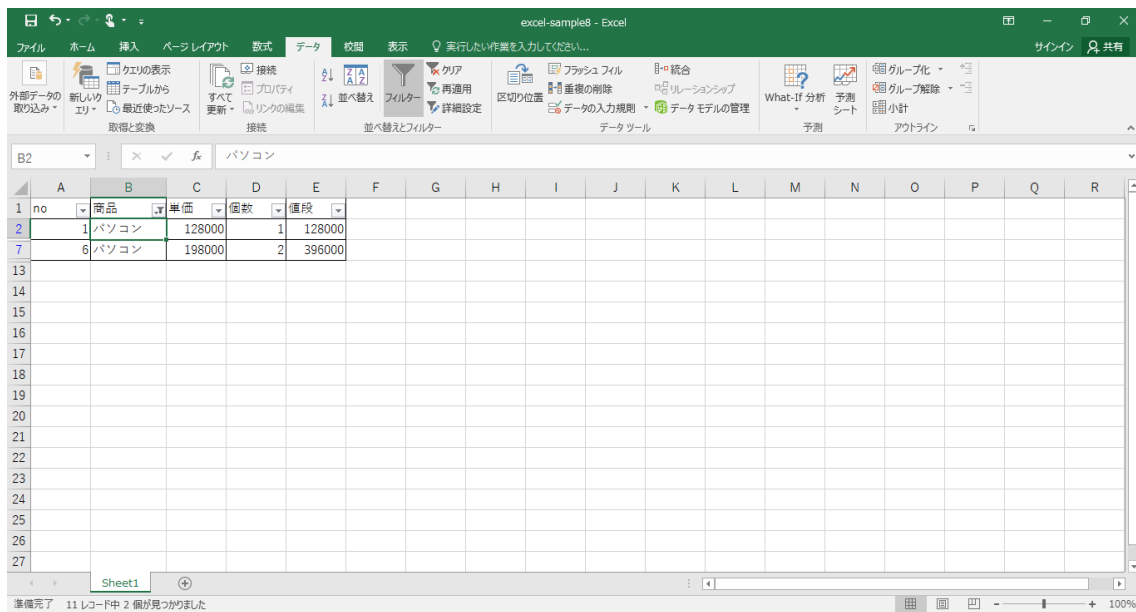
A1 から E11 を選択し、「データ」「フィルター」の順にクリックします。



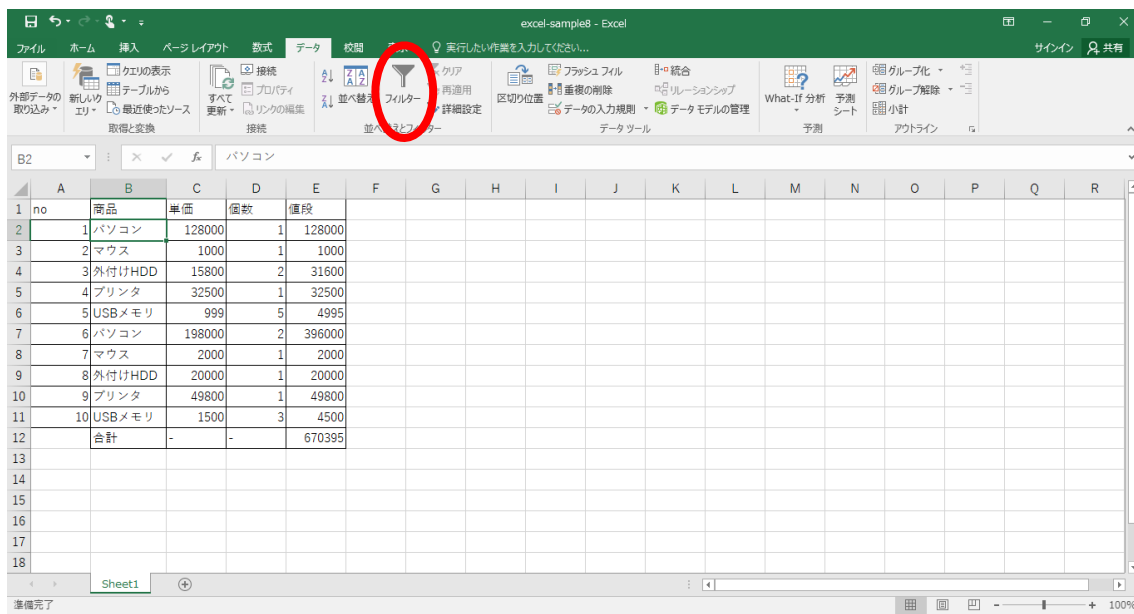
商品の「▼」をクリックし、「パソコン」をチェックします。



商品名が「パソコン」だけを表示することができました。これが、フィルターの機能です。件数が多くなると、フィルターはとても便利です。



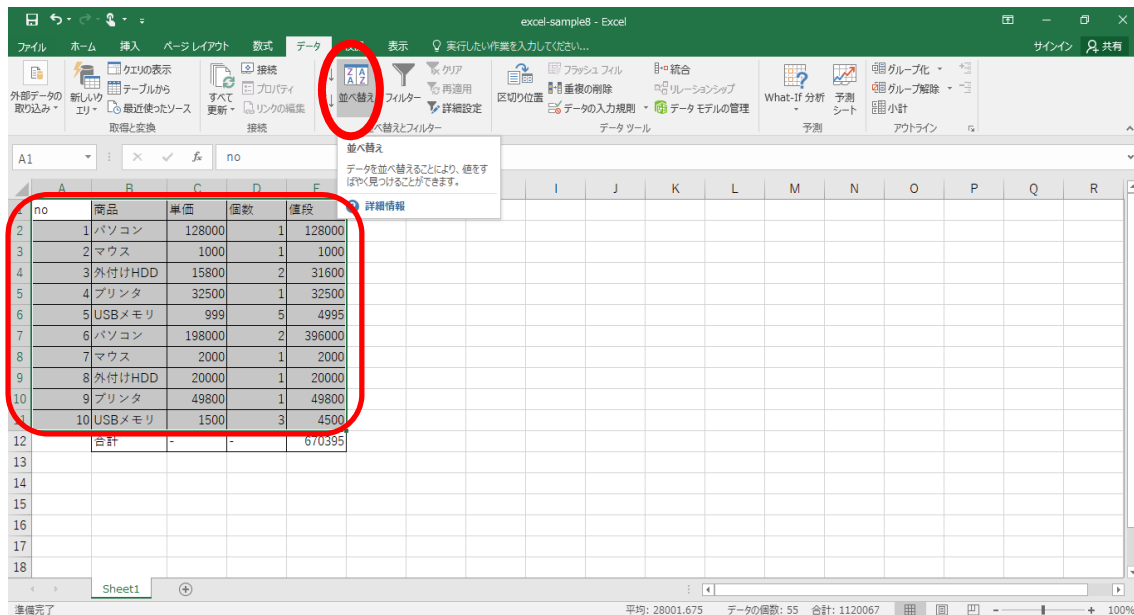
フィルターを解除するときは、「フィルター」をクリックします。



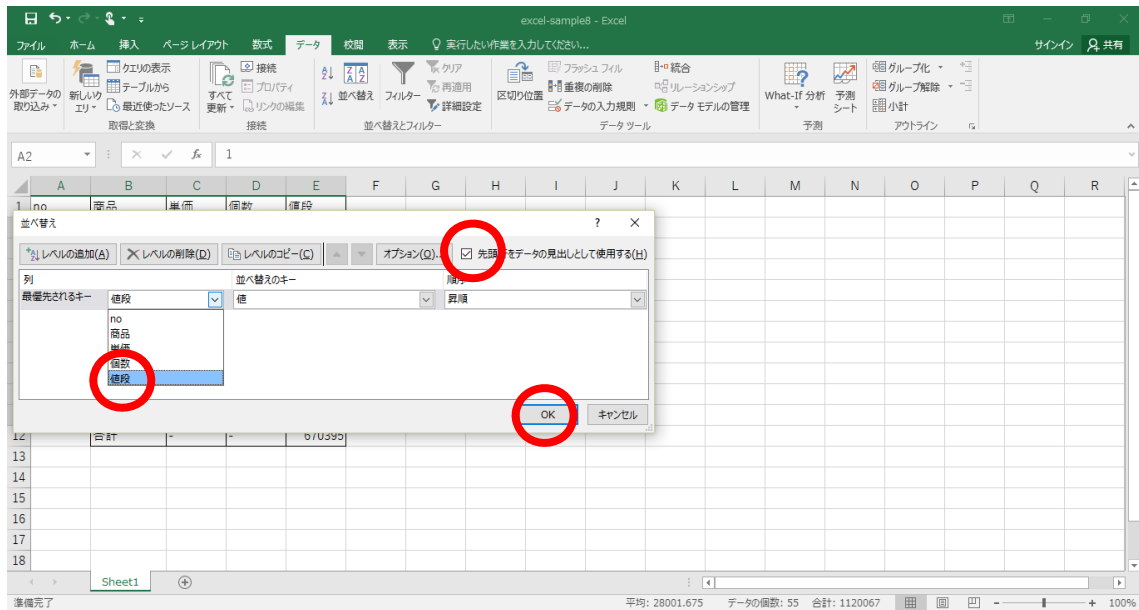
この例では、ドキュメントフォルダに「excel-sample8」で上書き保存しておきましょう。

## 12 表計算の練習9

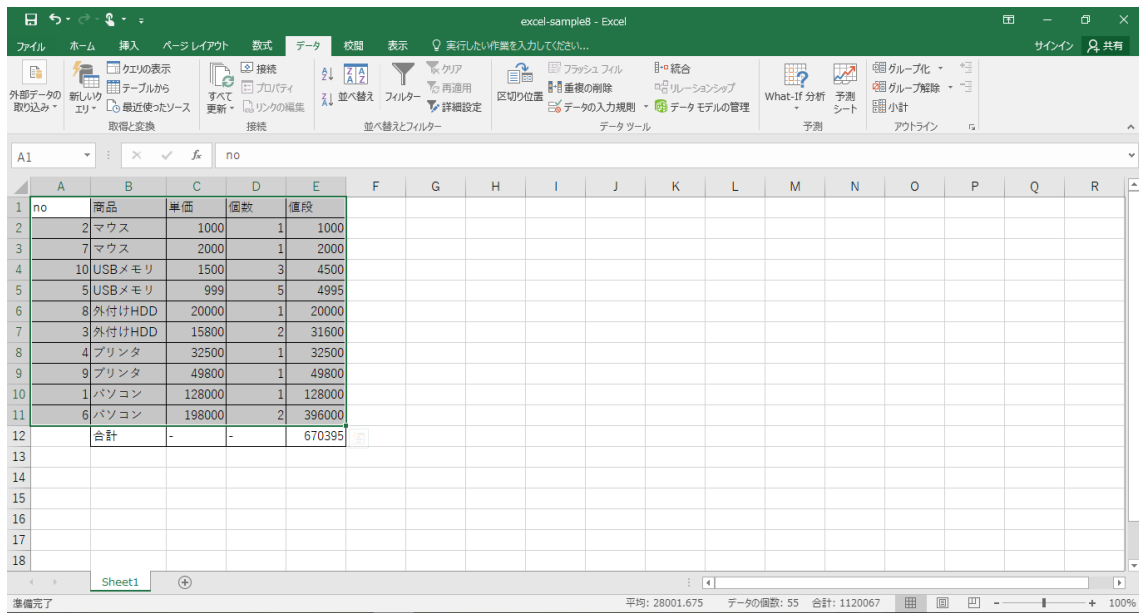
練習8で利用したワークシートを活用し、並べ替えを試してみましょう。A1 から E11 を選択します。「並べ替え」をクリックします。



「先頭行をデータの見出しとして使用する」をチェックし、最優先されるキーは「値段」を選択し、「OK」をクリックします。

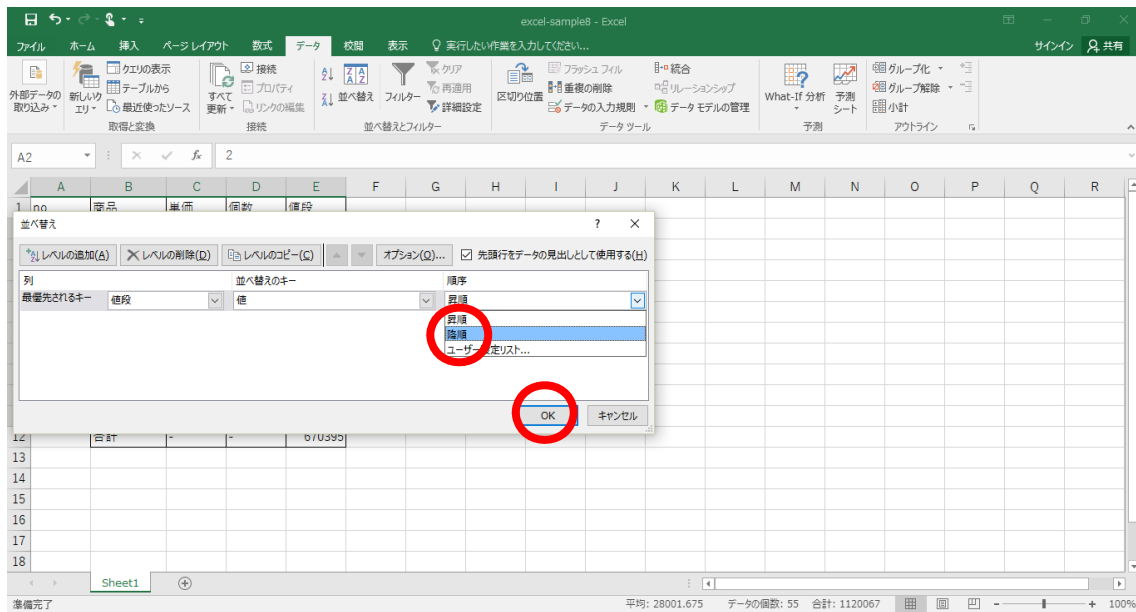


値段の昇順にデータが並べ変わります。どのように変わったかは、A列のnoの値を見れば分かります。

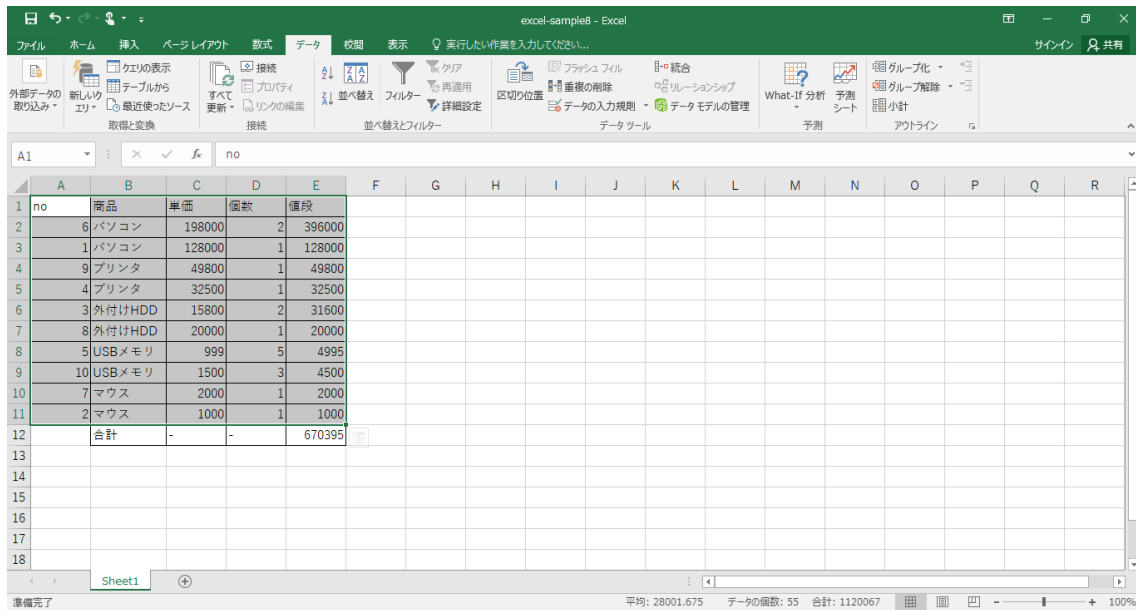




順序を「降順」にし、「OK」をクリックします。



値段の降順にデータが並べ変わります。どのように変わったかは、A列のnoの値を見れば分かります。



この例では、ドキュメントフォルダに「excel-sample9」で保存しておきましょう。

## 13 表計算の練習10

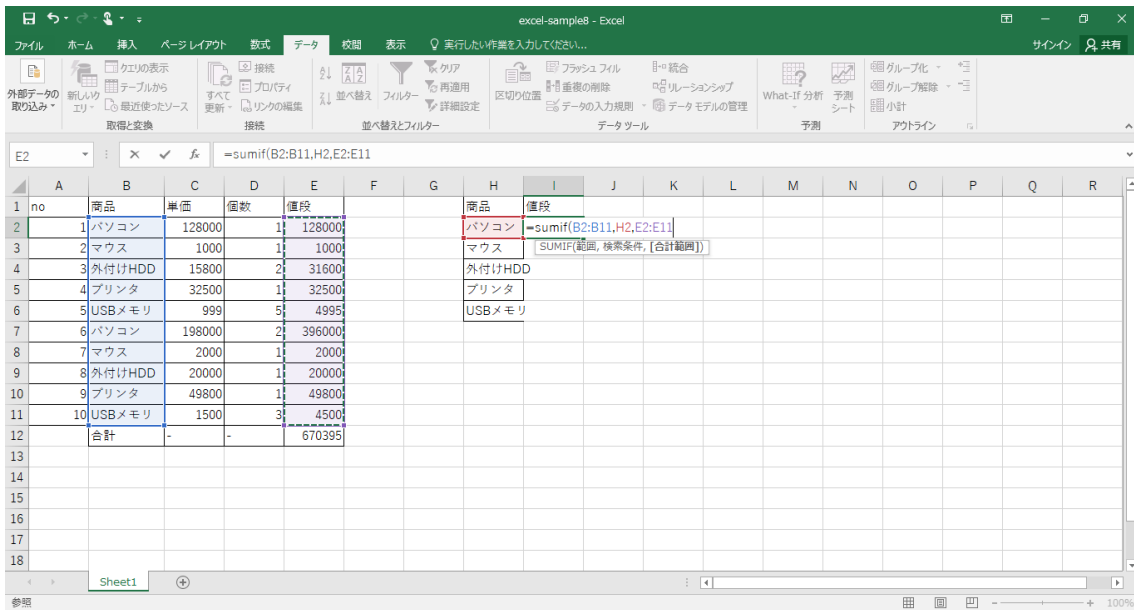
練習8で利用したワークシートを活用し、集計を試してみましょう。excel-sample8を開きます。集計項目はB1からB6を選択し、コピーします。

no	商品	単価	個数	値段
1	パソコン	128000	1	128000
2	マウス	1000	1	1000
3	外付けHDD	15800	2	31600
4	プリンタ	32500	1	32500
5	USBメモリ	999	5	4995
6	パソコン	98000	2	396000
7	マウス	2000	1	2000
8	外付けHDD	20000	1	20000
9	プリンタ	49800	1	49800
10	USBメモリ	1500	3	4500
12	合計	-	-	670395

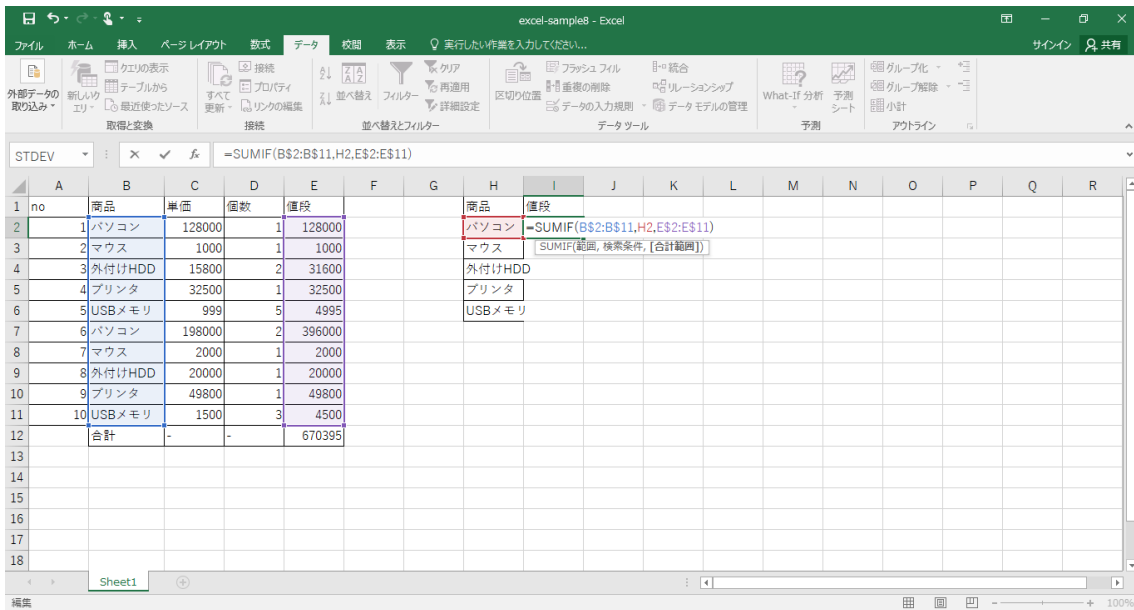
ここではH1をクリックし、貼り付けます。もちろん、キーボードを使って入力しても構いません。

no	商品	単価	個数	値段
1	パソコン	128000	1	128000
2	マウス	1000	1	1000
3	外付けHDD	15800	2	31600
4	プリンタ	32500	1	32500
5	USBメモリ	999	5	4995
6	パソコン	198000	2	396000
7	マウス	2000	1	2000
8	外付けHDD	20000	1	20000
9	プリンタ	49800	1	49800
10	USBメモリ	1500	3	4500
12	合計	-	-	670395

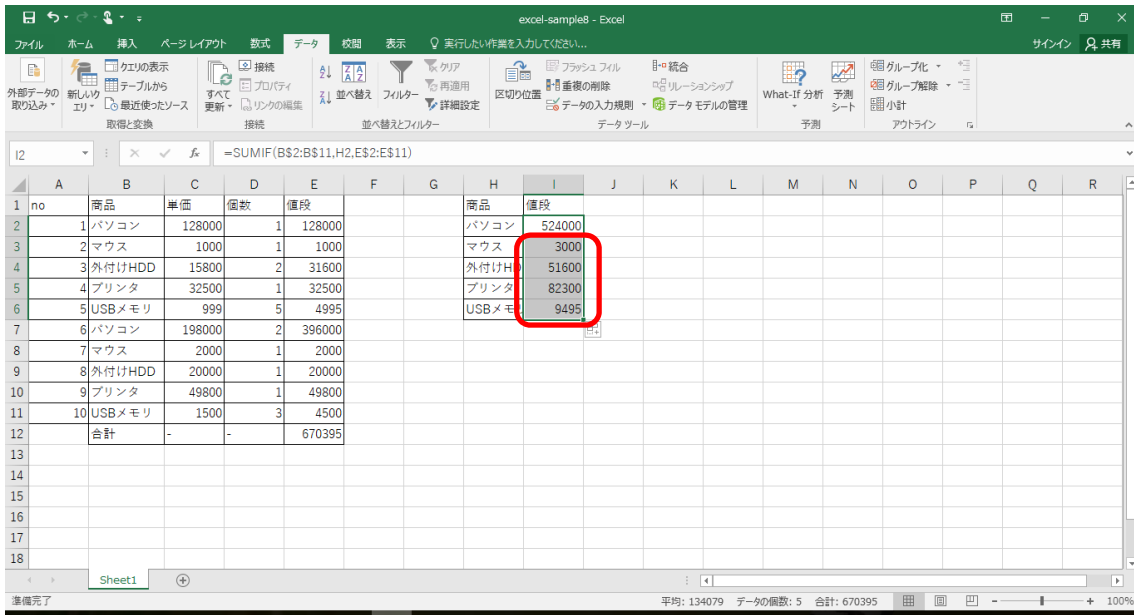
I1は「値段」と入力します。I2は「=SUMIF(B2:B11,H2,E2:E11)」と入力します。範囲の指定は、マウスでドラッグすると良いでしょう。



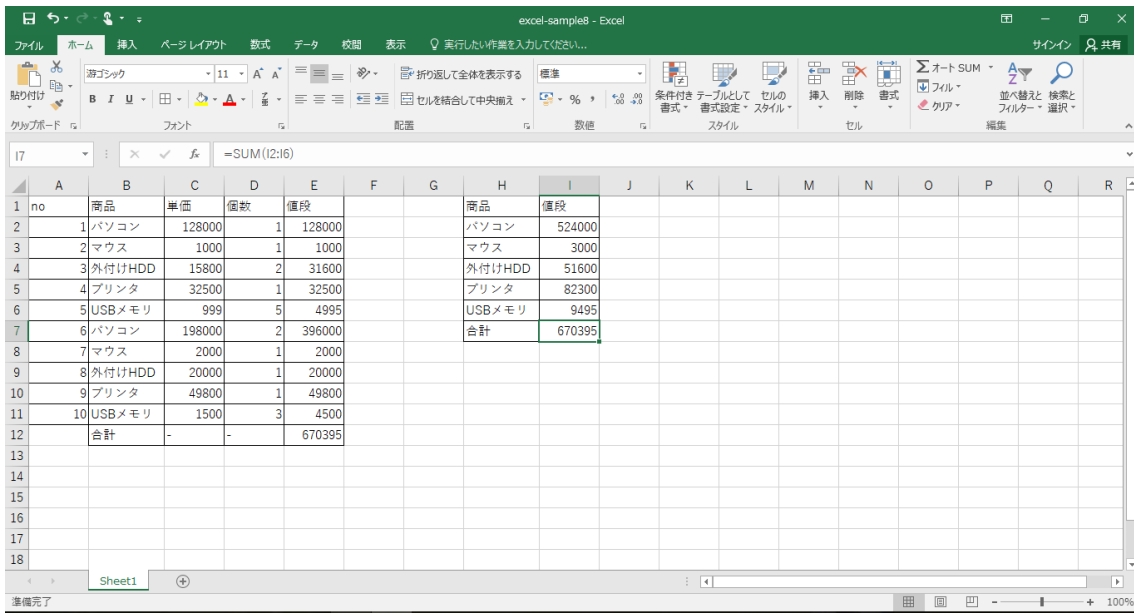
I2の式は、コピーして貼り付けたときに行がずれないように、行を絶対参照にする必要があります。I2は「=SUMIF(B\$2:B\$11,H2,E\$2:E\$11)」と修正します。



I2 のフィルハンドルを I6 までドラッグし、式をコピーし貼り付けます。



H7 は「合計」、I7 は合計を求める式を入れましょう。オート SUM を使うと良いでしょう。H 列の幅を調整し、罫線を付けておきましょう。



この例では、ドキュメントフォルダに「excel-sample10」で保存しておきましょう。

## 14 表計算の練習11

練習2で利用したワークシートを活用し、成績の評価を行ってみましょう。excel-sample2を開きます。ドキュメントフォルダに「excel-sample11」で保存しておきましょう。グラフは必要ないので、グラフをクリックし、「Del」キーを押して消しておきましょう。

この例では、以下のデータを追加します。

	A	B	C	D	E
1		数学	国語		
2	相川	80	50		
3	太田	70	60		
4	鈴木	50	90		
5	山田	75	70		
6	佐藤A	50	80		
7	佐藤B	90	70		
8	鈴木S	90	48		
9	西郷	50	50		
10	大久保	88	30		
11	綾小路	75	50		
12					

D1は「**数学合否**」、E1は「**国語合否**」、と入力します。D2は「**=IF(B2>=60,"合","否")**」と入力します。比較には、 $A>B$ (AはBより大きい)、 $A\geq B$ (AはB以上)、 $A=B$ (AとBは等しい)、 $A<>B$ (AとBは等しくない)、 $A\leq B$ (AはB以下)、 $A<B$ (AはBより小さい)の比較演算子が使えます。

	A	B	C	D	E	F
1		数学	国語	数学合否	国語合否	
2	相川	80	50	=if(B2>=60,"合","否")		
3	太田	70	60			
4	鈴木	50	90			
5	山田	75	70			
6	佐藤A	50	80			
7	佐藤B	90	70			
8	鈴木S	90	48			
9	西郷	50	50			
10	大久保	88	30			
11	綾小路	75	50			
12						

D1 のフィルハンドルを E1 へドラッグします。

	A	B	C	D	E	F
1		数学	国語	数学合否	国語合否	
2	相川	80	50	合	否	
3	太田	70	60			
4	鈴木	50	90			
5	山田	75	70			
6	佐藤A	50	80			
7	佐藤B	90	70			
8	鈴木S	90	48			
9	西郷	50	50			
10	大久保	88	30			
11	綾小路	75	50			
12						

さらに D1 と E1 を選択し、E1 のフィルハンドルを E11 までドラッグします。

	A	B	C	D	E	F
1		数学	国語	数学合否	国語合否	
2	相川	80	50	合	否	
3	太田	70	60	合	合	
4	鈴木	50	90	否	合	
5	山田	75	70	合	合	
6	佐藤A	50	80	否	合	
7	佐藤B	90	70	合	合	
8	鈴木S	90	48	合	否	
9	西郷	50	50	否	否	
10	大久保	88	30	合	否	
11	綾小路	75	50	合	否	
12						

次は成績を表示できるようにしましょう。F2に「=IF(B2>=90,"S","")」と入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績	
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S","")		
3	太田	70	60	合	合			
4	鈴木	50	90	否	合			
5	山田	75	70	合	合			
6	佐藤A	50	80	否	合			
7	佐藤B	90	70	合	合			
8	鈴木S	90	48	合	否			
9	西郷	50	50	否	否			
10	大久保	88	30	合	否			
11	綾小路	75	50	合	否			
12								

F2をアクティブセルにし、ファンクションキーのF2を押します。「IF(B2>=90,"S","")」の部分を選択し、コピー(Ctrl + C)します。なお、「=」は含みません。

	A	B	C	D	E	F	G
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S","")	
3	太田	70	60	合	合		
4	鈴木	50	90	否	合		
5	山田	75	70	合	合		
6	佐藤A	50	80	否	合		
7	佐藤B	90	70	合	合		
8	鈴木S	90	48	合	否		
9	西郷	50	50	否	否		
10	大久保	88	30	合	否		
11	綾小路	75	50	合	否		
12							

”を選択し、貼り付け(Ctrl + V)ます。

STDEV		✕ ✓ f_x		=IF(B2>=90,"S","")					
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績		
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S","")			
3	太田	70	60	合	合				
4	鈴木	50	90	否	合				
5	山田	75	70	合	合				
6	佐藤A	50	80	否	合				
7	佐藤B	90	70	合	合				
8	鈴木S	90	48	合	否				
9	西郷	50	50	否	否				
10	大久保	88	30	合	否				
11	綾小路	75	50	合	否				
12									

さらに”を選択し、貼り付けます。

STDEV		✕ ✓ f_x		=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=90,"S",""))					
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績		
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=90,"S",""))			
3	太田	70	60	合	合				
4	鈴木	50	90	否	合				
5	山田	75	70	合	合				
6	佐藤A	50	80	否	合				
7	佐藤B	90	70	合	合				
8	鈴木S	90	48	合	否				
9	西郷	50	50	否	否				
10	大久保	88	30	合	否				
11	綾小路	75	50	合	否				
12									



F2 の式を「=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",""))」のように修正します。

STDEV		✕ ✓ f_x		=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",""))						
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績			
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",""))				
3	太田	70	60	合	合					
4	鈴木	50	90	否	合					
5	山田	75	70	合	合					
6	佐藤A	50	80	否	合					
7	佐藤B	90	70	合	合					
8	鈴木S	90	48	合	否					
9	西郷	50	50	否	否					
10	大久保	88	30	合	否					
11	綾小路	75	50	合	否					
12										

同様に""を選択し、貼り付(Ctrl + V)けます。

STDEV		✕ ✓ f_x		=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",""))						
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績			
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",""))				
3	太田	70	60	合	合					
4	鈴木	50	90	否	合					
5	山田	75	70	合	合					
6	佐藤A	50	80	否	合					
7	佐藤B	90	70	合	合					
8	鈴木S	90	48	合	否					
9	西郷	50	50	否	否					
10	大久保	88	30	合	否					
11	綾小路	75	50	合	否					
12										

F2 の式を「=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A", IF(B2>=70,"B", "")))」のように修正します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績					
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",IF(B2>=70,"B", "")))						
3	太田	70	60	合	合							
4	鈴木	50	90	否	合							
5	山田	75	70	合	合							
6	佐藤A	50	80	否	合							
7	佐藤B	90	70	合	合							
8	鈴木S	90	48	合	否							
9	西郷	50	50	否	否							
10	大久保	88	30	合	否							
11	綾小路	75	50	合	否							
12												

F2 の式を「=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A", IF(B2>=70,"B", IF(B2>=60,"C", ""))))」のように修正します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績					
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",IF(B2>=70,"B",IF(B2>=60,"C", ""))))						
3	太田	70	60	合	合							
4	鈴木	50	90	否	合							
5	山田	75	70	合	合							
6	佐藤A	50	80	否	合							
7	佐藤B	90	70	合	合							
8	鈴木S	90	48	合	否							
9	西郷	50	50	否	否							
10	大久保	88	30	合	否							
11	綾小路	75	50	合	否							
12												

F2 の式を「=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A", IF(B2>=70,"B", IF(B2>=60,"C", "D"))))」のように修正します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績						
2	相川	80	50	合	否	=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",IF(B2>=70,"B",IF(B2>=60,"C", "D"))))							
3	太田	70	60	合	合								
4	鈴木	50	90	否	合								
5	山田	75	70	合	合								
6	佐藤A	50	80	否	合								
7	佐藤B	90	70	合	合								
8	鈴木S	90	48	合	否								
9	西郷	50	50	否	否								
10	大久保	88	30	合	否								
11	綾小路	75	50	合	否								
12													

F1 のフィルハンドルを G1 へドラッグします。

F2		=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",IF(B2>=70,"B",IF(B2>=60,"C","D"))))									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績				
2	相川	80	50	合	否	A	D				
3	太田	70	60	合	合						
4	鈴木	50	90	否	合						
5	山田	75	70	合	合						
6	佐藤A	50	80	否	合						
7	佐藤B	90	70	合	合						
8	鈴木S	90	48	合	否						
9	西郷	50	50	否	否						
10	大久保	88	30	合	否						
11	綾小路	75	50	合	否						
12											

さらに F2 と G2 を選択し、G2 のフィルハンドルを G11 までドラッグします。

F2		=IF(B2>=90,"S",IF(B2>=80,"A",IF(B2>=70,"B",IF(B2>=60,"C","D"))))										
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績					
2	相川	80	50	合	否	A	D					
3	太田	70	60	合	合	B	C					
4	鈴木	50	90	否	合	D	S					
5	山田	75	70	合	合	B	B					
6	佐藤A	50	80	否	合	D	A					
7	佐藤B	90	70	合	合	S	B					
8	鈴木S	90	48	合	否	S	D					
9	西郷	50	50	否	否	D	D					
10	大久保	88	30	合	否	A	D					
11	綾小路	75	50	合	否	B	D					
12												

1 科目落第なら H 列に 1 を，そうでなければ 0 を表示する式を考えてみましょう．関係演算は OR 関数が使えます．H2 は「=IF(OR(B2<60,C2<60),1,0)」と入力します．

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績	1科目落第	2科目落第	
2	相川	80	50	合	否	A	D	=IF(OR(B2<60,C2<60),1,0)		
3	太田	70	60	合	合	B	C			
4	鈴木	50	90	否	合	D	S			
5	山田	75	70	合	合	B	B			
6	佐藤A	50	80	否	合	D	A			
7	佐藤B	90	70	合	合	S	B			
8	鈴木S	90	48	合	否	S	D			
9	西郷	50	50	否	否	D	D			
10	大久保	88	30	合	否	A	D			
11	綾小路	75	50	合	否	B	D			
12										

2 科目とも落第なら I 列に 1 を，そうでなければ 0 を表示する式を考えてみましょう．関係演算は AND 関数が使えます．H2 は「=IF(AND(B2<60,C2<60),1,0)」と入力します．

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績	1科目落第	2科目落第		
2	相川	80	50	合	否	A	D		1	=IF(AND(B2<60,C2<60),1,0)	
3	太田	70	60	合	合	B	C				
4	鈴木	50	90	否	合	D	S				
5	山田	75	70	合	合	B	B				
6	佐藤A	50	80	否	合	D	A				
7	佐藤B	90	70	合	合	S	B				
8	鈴木S	90	48	合	否	S	D				
9	西郷	50	50	否	否	D	D				
10	大久保	88	30	合	否	A	D				
11	綾小路	75	50	合	否	B	D				
12											

H1 と I1 を選択し、I1 のフィルハンドルを I11 までドラッグします。

H2    ×    ✓    f<sub>x</sub>    =IF(OR(B2<60,C2<60),1,0)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績	1科目落第	2科目落第	
2	相川	80	50	合	否	A	D	1	0	
3	太田	70	60	合	合	B	C	0	0	
4	鈴木	50	90	否	合	D	S	1	0	
5	山田	75	70	合	合	B	B	0	0	
6	佐藤A	50	80	否	合	D	A	1	0	
7	佐藤B	90	70	合	合	S	B	0	0	
8	鈴木S	90	48	合	否	S	D	1	0	
9	西郷	50	50	否	否	D	D	1	1	
10	大久保	88	30	合	否	A	D	1	0	
11	綾小路	75	50	合	否	B	D	1	0	
12										

罫線をつけ、D から G 列は中央揃えにしておきましょう。

I11    ×    ✓    f<sub>x</sub>    =IF(AND(B11<60,C11<60),1,0)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		数学	国語	数学合否	国語合否	数学成績	国語成績	1科目落第	2科目落第	
2	相川	80	50	合	否	A	D	1	0	
3	太田	70	60	合	合	B	C	0	0	
4	鈴木	50	90	否	合	D	S	1	0	
5	山田	75	70	合	合	B	B	0	0	
6	佐藤A	50	80	否	合	D	A	1	0	
7	佐藤B	90	70	合	合	S	B	0	0	
8	鈴木S	90	48	合	否	S	D	1	0	
9	西郷	50	50	否	否	D	D	1	1	
10	大久保	88	30	合	否	A	D	1	0	
11	綾小路	75	50	合	否	B	D	1	0	
12										

この例では、ドキュメントフォルダに「excel-sample11」で保存しておきましょう。

## 15 表計算の練習12

vlookup 関数は、検索したデータに該当した行の必要なデータだけを取り出すことができる関数です。F2 は「**=D2\*E2**」を入力し、F3 から F6 まで貼り付けます。

STDEV											
=D2*E2											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2		1 A1001			2	=D2*E2		A1001	パソコン	100,000	
3		2 A1002			1	0		A1002	ディスプレイ	29,800	
4		3 A1004			2	0		A1003	プロジェクター	45,090	
5		4 B1003			2	0		A1004	プリンタ	24,800	
6		5 B1001			10	0		A1005	パソコンラック	26,900	
7					合計			B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

F7 は「**=SUM(F2:F6)**」を入力します。オート SUM を使うと良いでしょう。

STDEV											
=SUM(F2:F6)											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2		1 A1001			2	0		A1001	パソコン	100,000	
3		2 A1002			1	0		A1002	ディスプレイ	29,800	
4		3 A1004			2	0		A1003	プロジェクター	45,090	
5		4 B1003			2	0		A1004	プリンタ	24,800	
6		5 B1001			10	0		A1005	パソコンラック	26,900	
7					合計	=SUM(F2:F6)		B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

H1 から J10 に記載されている表から、商品コードに対応した商品名と単価を取り出してみましよう。C2 は「=VLOOKUP(B2,H2:J10,2,FALSE)」と入力します。vlookup 関数は、検索する値と、検索する範囲、表示する列番号を指定します。

STDEV											
=VLOOKUP(B2,H2:J10,2,FALSE)											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2	1	A1001	=VLOOKUP(B2,H2:J10,2,FALSE)					A1001	パソコン	100,000	
3	2	A1002			1	0		A1002	ディスプレイ	29,800	
4	3	A1004			2	0		A1003	プロジェクター	45,090	
5	4	B1003			2	0		A1004	プリンタ	24,800	
6	5	B1001			10	0		A1005	パソコンラック	26,900	
7					合計	0		B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

C2 は、絶対参照を使って「=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,2,FALSE)」と修正します。その後、C2 をコピーして D2 に貼り付けます。

STDEV											
=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,2,FALSE)											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2	1	A1001	=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,2,FALSE)					A1001	パソコン	100,000	
3	2	A1002			1	0		A1002	ディスプレイ	29,800	
4	3	A1004			2	0		A1003	プロジェクター	45,090	
5	4	B1003			2	0		A1004	プリンタ	24,800	
6	5	B1001			10	0		A1005	パソコンラック	26,900	
7					合計	0		B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

D2 は、「=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,3,FALSE)」赤字の部分に 3 に修正します。

STDEV											
=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,3,FALSE)											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2	1	A1001	パソコン	=VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,3,FALSE)				A1001	パソコン	100,000	
3	2	A1002						A1002	ディスプレイ	29,800	
4	3	A1004			2	0		A1003	プロジェクター	45,090	
5	4	B1003			2	0		A1004	プリンタ	24,800	
6	5	B1001			10	0		A1005	パソコンラック	26,900	
7					合計	0		B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

C2 と D2 を選択し、D2 のフィルハンドルを D6 までドラッグ、またはダブルクリックします。

C2 =VLOOKUP(\$B2,\$H\$2:\$J\$10,2,FALSE)											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	商品コード	商品名	単価	数量	売上金額		商品コード	商品名	単価	
2	1	A1001	パソコン	100,000	2	200,000		A1001	パソコン	100,000	
3	2	A1002	ディスプレイ	29,800	1	29,800		A1002	ディスプレイ	29,800	
4	3	A1004	プリンタ	24,800	2	49,600		A1003	プロジェクター	45,090	
5	4	B1003	電源ケーブル	1,980	2	3,960		A1004	プリンタ	24,800	
6	5	B1001	プリンタ用紙	2,000	10	20,000		A1005	パソコンラック	26,900	
7						303,360		B1001	プリンタ用紙	2,000	
8								B1002	HDMIケーブル	2,980	
9								B1003	電源ケーブル	1,980	
10								B1004	プリンタインク	3,480	
11											

このようにワークシートを作っておくと、I列の商品名やJ列の単価を変更すると、C列とD列の商品名と単価が変更され、売上金額が再計算されます。

この例は、ドキュメントフォルダに「excel-sample12」で保存しておきましょう。